令和4年度部局運営方針

環境経済部

運営方針

農林商工･観光産業の振興と循環型社会の構築

豊かな自然と暮らしが調和する持続可能なまちを実現させるため、地球温暖化対策、自然環境・生活環境の保全、環境美化を推進するとともに、資源の有効利用と廃棄物の適正処理等を進めることで、脱炭素社会や循環型社会の構築に努めます。

次に、市内事業者の事業拡大や市外事業者の転入促進につなげるため、産業用地の確保に向けた取り組みを進めるとともに、市内事業者に対する情報発信の強化をはじめ新たな事業展開に係る補助を行います。

また、営農環境や生産基盤の整備により持続的な農業の促進、生産体制の強化及び販売農家の育成に努めるとともに、「おおさか河内材」の利用促進により、林業の持続的な発展を推進し、森林資源の循環利用や活用を図ります。

加えて、人の流れを生む観光・産業振興として３つの日本遺産「中世に出逢えるまち」「女人高野」「葛城修験」をはじめ、「楠公さん」大河ドラマの誘致など、多様な本市の資源を活かした取り組みを進めます。

【重点施策】		【めざす方向】
環境基本計画の推進	⇒	温室効果ガスの排出量を削減する低炭素社会をさらに進め、脱炭素社会をつくり、環境を守る人を育てるため、「COOL　CHOICE」の普及啓発等、地球温暖化対策に取り組みます。 また、美しいゆとりある空間をつくるため、路上喫煙対策等、環境美化の推進に取り組みます。
時代に即した安定かつ効果的･効率的で住民ニーズに対応した家庭ごみ収集の検討	⇒	家庭ごみの収集方式の検討については、継続性、安定性、市民ニーズ、体制面やコスト面なども考慮し、多角的かつ総合的に検討を進めてまいります。 具体的には、令和3年度に実施しました家庭ごみ戸別収集方式検討調査業務の調査結果を踏まえ、自治会などにもアンケート調査を実施するとともに、廃棄物減量等審議会に諮問し、戸別収集方式やふれあい収集の拡充についても審議し、調査・検討を進めていきます。
農林業振興施策の推進	⇒	営農相談や指導による支援をはじめ、スマート農業の導入やスマート捕獲における有害鳥獣対策により省力化を検証し、労力の軽減を図ります。 また、世界かんがい施設遺産や棚田遺産認定を契機に、農地や農業用施設の保全管理と有効活用を進めます。 さらに、森林経営管理法に基づく事業推進及び「第２期かわちながの森林プラン」に基づき、おおさか河内材の利用促進などを行うことで、森林資源の循環利用をめざします。

本市商工業の活性化、就労支援の充実	⇒	ポストコロナ時代の環境変化を見据え、市内の商工業者の生産性向上と競争力を強化するなどの支援を行うとともに、雇用の場の創出を図るため、産業用地の確保に向けて各種調整を図ります。 また、重層的支援体制整備事業と連携し、様々な世代に対し就労支援の充実に取り組みます。
「観光振興計画」の推進	⇒	観光振興計画に基づく取組みを計画的に進め、観光客目線で集客と消費を高める観光振興を推進することにより、交流人口増加による市内経済の活性化に取り組みます。 また、道の駅「奥河内くろまろの郷」の魅力向上に努め、観光入込客数の増加をめざします。 さらに、３つの「日本遺産」の魅力発信や楠公さん大河ドラマ誘致協議会や楠公ツーリズム推進協議会と連携しながら広域観光の推進につなげます。